

科目区分	専門分野 I	授業科目	基礎看護方法論区 (検査・フィジカルアセスメント・救急法)
講師名	下田 旬美 窪田 有紀	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次	2 年次 前期
<p>目的： 看護の本質を理解し、看護に必要な基本的知識・技術・態度を習得する</p> <p>目標： 1) 症状・生体機能管理技術の基礎知識が説明できる 2) 診察・検査・処置の基礎知識が説明できる 3) 静脈血採血ができる 4) 検査場面における看護師の役割が説明できる 5) フィジカルアセスメントの意義と目的が説明できる 6) フィジカルアセスメントの方法が説明できる 7) 症状・徴候からアセスメントでき、必要な援助がわかる 9) 救急対応の考え方、急変時における初期対応の流れが説明できる 10) 心肺蘇生の基礎知識を説明できる 11) 一時救命処置を正しく実施できる 12) 止血法の原理について説明できる</p>			
回	時間	講 義 内 容	
1	2	症状・生体機能管理技術	臨床検査 ・ 診療における臨床検査の役割 ・ 臨床検査の種類と目的 検体検査 生体情報のモニタリング
2	2	診療・検査・処置	看護の目的と役割 生体検査
3 演習	4	静脈血採血	真空採血管を使用した静脈血採血の実 際
4	2	フィジカルアセスメントとは フィジカルアセスメントの 方法	フィジカルアセスメントの意義と目的 フィジカルアセスメントに必要な技術 ・ 問診の技術 ・ 視診の技術 ・ 触診の技術 ・ 聴診の技術 ・ 打診の技術

5	2	身体機能別 アセスメント①	呼吸系
6	2	身体機能別 アセスメント②	循環系
7	2	症状・兆候からのアセスメント 診察方法と介助技術（演習）	フィジカルアセスメントの実際 ・計測 ・症状・兆候からのアセスメント
8	2	身体機能別 アセスメント③（演習）	運動系 中枢神経系
9	2	身体機能別 アセスメント④（演習）	消化器系 感覚器系
10	2	フィジカルアセスメントの 実際①（演習）	症状・疾患別アセスメント
11・12	3	フィジカルアセスメントの 実際②（講義/演習）	症状・疾患別アセスメント
13	2	救急救命処置技術 心肺蘇生法 止血法	救命救急処置技術の基礎知識 ・急変時における初期対応 ・トリアージ 心肺蘇生法の基礎知識 ・一時救命処置（BLS） ・小児・乳児の心肺蘇生法 ・二時救命処置（ALS） 止血法の基礎知識
14 演習	2	心肺蘇生法の援助の実際	一時救命処置の実際 ・気道確保 ・人工呼吸 ・胸骨圧迫 ・AEDにおける除細動
15	1	単位認定試験	筆記試験
講義方法	講義 14 時間演習 16 時間		
評価方法	筆記試験：検査 30 点、フィジカルアセスメント 60 点、救急法 10 点		
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 専門分野 I, 基礎看護学②第 17 版第 3 刷, 医学書院 ・系統看護学講座 別巻 臨床検査 第 8 版第 2 刷 医学書院 ・フィジカルアセスメントがみえる、第 1 版第 6 刷 メディックメディア ・看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第 1 版第 1 刷 メディックメディア 		
備考			

